

令和4年 6月 10日

関係各位

鹿児島県剣道連盟奄美支部
支部長 野崎 浩一

第44回 奄美支部杯剣道大会の開催について（案内）

このことについて、下記の大会実施要項により開催しますので御案内申し上げます。

記

- 1 主催 鹿児島県剣道連盟奄美支部
- 2 日程 令和4年6月26日（日）9：00開会（7：30開場予定）
審判監督会議 8：40
開会式 9：00
大会 10：00～14：30
終了予定時刻 15：00
- 3 会場 住用体験交流館
- 4 趣旨 小・中学生、高校生を対象に正しい剣道の普及発展並びに心身の鍛練と相互の親和を図り将来を担う青少年の健全育成に資す。
- 5 参加資格 剣道修行（クラブ活動）する小・中学生および高校生であること。
- 6 部門 **【団体戦3部門】**
 - (1) 小学生の部
 - (2) 中学生の部

※小・中学生共にチーム編成は当日に行う事とする。
責任者1名、監督1名、選手3名、補欠1名としチーム数は制限しない。
中学生は男子、女子の混合チームを認める。

【個人戦4部門】

 - (1) 小学生 低学年の部（4年生以下）
 - (2) 小学生 高学年の部（5・6年生）
 - (3) 中学生の部

※個人戦においては、出場者数は制限しない。

【基本切り返しの部】

小学生 個人の部（2年生以下または、新入部員で防具を付けた稽古をしていない小学生）

※別紙参照のこと

8 試合方法

- (1) 全日本剣道連盟試合規則・審判細則、剣道試合・審判運営要領によるが大会の趣旨に沿い適時、適切な指導助言を行うものとする。
※コロナ禍に対応した試合規則・審判細則、剣道試合・審判運営要領で行うものとする。
- (2) 団体戦は予選リーグを行い、決勝トーナメント戦を行う。
- (3) 団体戦の勝負は3本勝負とし、試合時間は小学生2分、中学生・高校生とも3分とする。
- (4) 団体戦の勝敗は勝者数、勝ち本数によって決し、勝者数・総本数共に同数の場合は引き分けとする。ただし、決勝トーナメントにおいて勝者数・総本数共に同数の場合は自由代表戦によって勝敗を決する。時間内に勝負が決しない場合は、延長戦を勝負が決するまで行う。
- (5) 個人戦は、トーナメント戦により勝負を決する。(出場者数による)
試合は3本勝負とし、中学生・高校生とも3分とする。時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を勝敗が決するまで行う。延長戦は2分刻みで行い、下記のインターバルにて行う。
延長→延長→**深呼吸**→延長→延長→**水分補給** 以下繰り返し(審判主任の判断にて変更可)
※ 参加申込みの状況により総当り戦又はリーグ戦を行う可能性があります。(事務局裁量)
- (6) 申し込み後のオーダー変更は認めない。ただし、選手の事故のため出場できないときは審判長の許可を得て、その位置に補欠を起用することができる。一度退いた選手は再出場できない。
- (7) 竹刀の検量等を行わないが、使用する竹刀は監督の責任において規定のものを使用すること。
- (8) 面紐の結び目からの長さは、全剣連の規定の通り40cm以内とする。選手は垂れの中央にチーム名(横書き)、姓(縦書き)を記入した名札を付けること。
- (9) 試合者標識・目印(赤・白)は各チームで準備すること。(幅5cm二つ折り長さ35cmとする)
- (10) 参加チームは会場に到着次第、直ちに受付をすること。

9 申込方法

- (1) 別紙申込書に保護者承諾を前提とし、申込責任者押印のうえ申し込むこと。
- (2) 大会出場者は、スポーツ障害保険に加入すること。試合中の負傷、疾病に対する応急処置は当連盟で実施するが、以後の責任は負わない。
- (3) 参加費として、1チーム2,000円を徴収する。個人戦のみの出場者は、1名500円とする。大会当日、受付にてお支払いください。

10 申込締切 令和4年6月20日(月)まで。Fax、Email可。

11 申し込み・問い合わせ先

〒894-0004

鹿児島県奄美市名瀬鳩浜町28

鹿児島県剣道連盟奄美支部 事務局 栄山 大輔

携帯 090-5021-8875

fax (0997) 53-6486

Email: shigeyama@tiara.ocn.ne.jp

12 オーダー表及び星取表の提出

オーダー表は各学校(団)において名前欄を空白で作成し、試合当日大会本部に提出のこと。
星取表は各チーム2枚作成のこと。

オーダー表・星取り表の規格

チーム名	先		中		大	50 mm
						220 mm
	90mm	140mm	140mm	140mm	140mm	
						270 mm

13 チーム編成について

チーム編成上、選手が足りない場合、3名編成の場合2名から編成するものとする。

配置は次のとおりとする。

3名編成で選手2名の場合 先鋒・ ・大将（中堅をあける）

14 昨年の大会で優勝した選手又は学校（団体）は、優勝旗、優勝カップを忘れずご持参ください。別紙参照

※審判をしていただける先生方が少なくなっています。各団体1名以上の審判協力をお願いします。当日の審判服装は、半袖白ワイシャツ（ノーネクタイ）または、支部審判用ポロシャツ、グレーのズボン、黒又は紺靴下、または、これに準じた服装でお願いします。

(別紙参照)【基本切り返しの部】について

1 試合方法

- (1) 小学校2年生以下の個人戦トーナメント方式とする。
- (2) 勝敗は審判員3名(主審1名、副審2名)の判定にて行う。
- (3) 元立ちは、小学6年生以下とする。(他選手の元立ちと重複可)
- (4) 選手は、面をつけないが、元立ちは安全上、面をつけて行うこととする。
- (5) 試合方法は下記のとおりとする。

ア 試合の開始は、選手・元立ち9歩の間合いで立礼をした後、開始位置で蹲踞し、立った状態で互いに中段の構えになり、主審の「切り返しはじめ」の合図により、切り返しを行う。

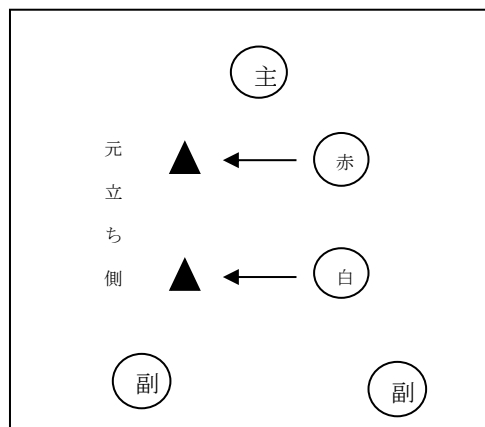
(ア) 切り返し・・・正面打ち→前進して左右面4本、後退して左右面5本→正面打ち2本。

イ 切り返しを終了し、立って構えたまま判定を待つ。

ウ 審判員は主審の「判定」の宣告で、勝者の紅白いずれかを挙げる。

エ 主審は勝旗を確認し、「勝負あり」と宣告する。(判定に引き分け・棄権は認めない)

オ 元立ちの交代は、自由とする。



2 判定の基準

* 所作・礼法・着装等ができ、充実した氣勢で身体を大きく使い、強く、正しく、速く、刃筋正しく、軽やかに気剣体一致の打ち方であるかを総合的に判定する。

- (1) 竹刀の振り方は正しいか。
- (2) 足の運びは正しいか。
- (3) 左右の面を打つ角度が約45度になっているか。
- (4) 「正面打ち」の時、一足一刀の間合いから打っているか。
- (5) 竹刀の打突部で打突部位を正しく打っているか。
- (6) 「左右面打ち」の時、両腕が自然に伸び、左拳が中心(みぞおち)に納まっているか。
- (7) 最後まで気合いと体勢が崩れないか。